



Contact: Jeff Wolf
IASLC Director of Communications
Jeff.Wolf@IASLC.org | 720-325-2952

Becky Bunn
IASLC Projects Specialist
Becky.Bunn@IASLC.org | 720-325-2946

肺癌に関する活動報告書 今後期待できる進歩

件名：Lung Cancer Awareness Month 肺癌啓発月間

日時：2015年11月1日～30日

現状：

- 肺癌は世界的に癌による死亡の主要な原因に挙げられます。毎年 1,600,000 を超える方が肺癌により死亡しています。これは乳癌、結腸癌、前立腺癌を足した数よりも多いのです。
- アメリカにおいては、死亡者数をもとにすると、肺癌関連で得る基金などは乳癌関連の 7%にすぎません。これが世界的な傾向です¹⁾。
- 肺癌研究に対する資金援助はこの疾患の重大性を考えても大変重要なものです。肺癌発見時には進行していることが多く、そのため治療が困難となることもあります。医療の進歩により検査、早期発見、個別治療などに多くの期待が望めますが、それには財政的支援が必要となります。
- 喫煙者だけが肺癌に罹患するわけではありません。例えば、アメリカでは毎年およそ 31,000 の方が喫煙とは関係のない肺癌で死亡しています。(前立腺癌の死亡数とほぼ同数です)。
- 肺癌の他の原因としては、家庭でのラドンガス (年間 20,000 人死亡)、職場での被爆、受動喫煙、他の癌の治療の影響、遺伝性、等があげられます²⁾。
- 肺癌は必ずしも致命的な病気ではありません。画期的な新しい治療法が、肺癌の生存率を日々劇的に改善しています。
- 2012 年のアメリカでは、NIH が肺癌研究に費やす費用の 40 倍以上をたばこ会社が宣伝プロモーションに費やしています (タバコ会社 96 億ドルに対し、NIH 2.33 億ドル)³⁾。

研究と今後期待できる進歩：

- 新しい免疫療法 (自己の免疫細胞を用いて癌細胞を攻撃する) が、進行非小細胞肺癌 (NSCLC) の患者に大きな希望をもたらしています。
- 分子標的薬は、特異遺伝子変異を持つ肺癌と診断された患者に対し、彼らの腫瘍に特異的に効果がある薬剤で治療できる、という希望を与えます。
- 禁煙がある程度は患者の生存率を伸ばすことが、エビデンスとして示されています。

参照：IASLC's complete 2015 Statement on Tobacco Control and Smoking Cessation

- 低線量 CT 検査の施行により、30 pack-a-year 以上の現在喫煙者あるいは 15 年以内に禁煙をした成人の肺癌死亡を、通常の X 線検査に比べ 20%減少することが出来ると示されています⁴⁾。

アジア地域：

- 世界の肺癌症例の 51%はアジアで発生しています⁵⁾。
- アジアでの癌による死亡の 21%が肺癌です⁶⁾。
- 中国は世界で最大のたばこ消費国であり、約 301,000,000 人の喫煙者がいます⁷⁾。
- 約 2/3 の中国人男性が喫煙し、もし彼らが禁煙しない場合、その半数が喫煙の結果として死亡するという予測がでています⁸⁾。
- 中国での喫煙が原因の死亡者は 2030 年には 2,000,000 人近いと予測され、2050 年には 3 倍の年間 3,000,000 人と予想されています — シカゴの人口をも超える数です⁹⁾。

我々にできること：

- 教育が重要：リスクがある人々は肺癌スクリーニングについて医師に質問できることを知る必要があります。禁煙プログラムや、臨床試験、期待できる肺癌医療の進歩についても知る必要があります。
- 肺癌に対する考え方の変化が大きなサポートや資金援助につながり、それが生存率を高め、肺癌を慢性疾患の様な治療しやすい病気にするにつながります。

詳しい情報は、www.iaslc.org/lcam へ。世界の専門家と情報交換したい場合には、IASLC の Director of Communications [Jeff Wolf](#) か、Projects Specialist [Becky Bunn](#) にご連絡下さい。

IASLC について：

The International Association for the Study of Lung Cancer (IASLC)は、1974 年に肺癌研究を目的として設立された唯一の国際学会です。現在世界 90 か国以上の 4000 人以上の肺癌専門家が会員となっています。IASLC は、国際協力を推進し、肺癌との戦いにおいて最良な治療を共有するために、世界中の先進的な臨床医と科学者を結び付けます。過去には、世界中で広く利用されている肺癌の病期分類や組織分類の作成に参加しました。IASLC について詳しくは www.iaslc.org へ。

¹LCSM Lung Cancer Facts. Access Date: Oct. 7, 2015: http://lcschat.com/lung-cancer-facts/#_edn12.

²U.S. Environmental Protection Agency. Radon. (26-Aug-2013). Accessed date: Sept 30, 2015: <http://www.epa.gov/radon/>.

³Federal Trade Commission Cigarette Report for 2012. Federal Trade Commission (2015). Access Date: Sept. 30, 2015:

<https://www.ftc.gov/system/files/documents/reports/federal-trade-commission-cigarette-report-2012/150327-2012cigaretterpt.pdf>

And NIH Estimates of Funding for Various Research, Condition, and Disease Categories (RCDC). Access Date: Sept. 30, 2015:

http://report.nih.gov/categorical_spending.aspx.

⁴New England Journal of Medicine, Reduced Lung-Cancer Mortality with Low-Dose Computed Tomographic Screening. Access Date: Sept. 30, 2015:

<http://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMoa1102873>.

⁵World Cancer Report 2014. Steward, Bernard and Wild, Christopher (eds). Lyon 2014.

⁶World Health Organization. Globocan 2012: Estimated Cancer Incidence, Mortality and Prevalence Worldwide in 2012. Access Date: October 26, 2015:

http://globocan.iarc.fr/Pages/fact_sheets_cancer.aspx.

⁷New England Journal of Medicine. Prevalence of Smoking in China in 2010. Access Date: October 22, 2015:

<http://www.nejm.org/doi/full/10.1056/NEJMc1102459>.

⁸<http://www.asiatraveltoday.com/2015/10/10/smoking-could-claim-lives-of-1-in-3-young-chinese-men/>. Access Date: Oct. 12, 2015.

⁹The Lancet. Smoking Cessation for Chinese Men and Prevention for Women. Access Date: Oct 26, 2015:

[http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736\(15\)00416-](http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(15)00416-)

[X/fulltext?rss=yes&utm_source=charybd.com&utm_medium=link&utm_campaign=article](http://www.thelancet.com/journals/lancet/article/PIIS0140-6736(15)00416-X/fulltext?rss=yes&utm_source=charybd.com&utm_medium=link&utm_campaign=article)

###